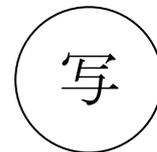


令和6年（2024年）8月5日開会

令和6年（2024年）第9回

茨木市教育委員会臨時会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和6年8月5日（月）第9回教育委員会臨時会を茨木市文化・子育て複合施設  
おにクル7階会議室1・2で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	前 川 佳 之
委 員	堀 村 佳奈子
委 員	水 上 明 美
委 員	城 谷 敬 子

◆ 本委員会に出席した者

教 育 総 務 部 長	辻 田 新 一
教 育 政 策 課 長	泰 田 真 一
学 校 教 育 部 長	青 木 次 郎
学校教育推進課参事	大 池 輝 暢
学校教育推進課指導主事	津 本 航 佑

◆ 署名委員

委 員	城 谷 敬 子
-----	---------

( 令和 6 年 8 月 5 日 ( 月 ) 、 午後 2 時 0 0 分 )

議事日程 ( 令和 6 年第 9 回 茨木市教育委員会臨時会 )

( 於 : 茨木市文化・子育て複合施設おにクル 7 階会議室 1 ・ 2 )

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3	28	令和 7 年度使用茨木市立義務教育諸学校教科用図書の採択について	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

( 1 4 時 0 0 分 開 会 )

岡田教育長

ただいまから、令和 6 年第 9 回茨木市教育委員会臨時会を開会いたします。

なお、本日の会議に傍聴の希望がございましたので、許可をいたして入っていただいております。

議事の途中につきましても、随時入室をしていただくことになっております。

本日の出席者は 5 名でありまして、会議は成立いたしております。

これより本日の会議を開きます。

日程第 1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は、午後 5 時までといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後 5 時までと決定いたします。

日程第 2 「会議録署名委員指名について」、本件は茨木市教育委員会会議規則第 17 条の規定により、城谷委員をご指名申し上げますので、よろしく願いいたします。

日程第 3 議案第 28 号「令和 7 年度使用茨木市立義務教育諸学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

青木学校教育部長

議案第 28 号につきまして、ご説明いたします。

本件は、令和 7 年度に本市立小・中学校において使用する教科用図書の採択についてでございます。

教科用図書を採択する期間については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に

関する法律第14条において、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を選採するものとされております。

また、同施行令第15条において、その期間は4年と定められています。

小学校教科用図書につきましては、令和6年度より現行の教科書を使用しており、同施行令に基づき、令和7年度についても、別表1の1、「令和7年度使用小学校教科用図書採択一覧表」のとおり、本年度と同一の教科書を選採することをお願いいたします。

次に、中学校教科用図書についてでございます。

本年度は前回の採択から4年となるため、全ての教科について新たに採択を行うこととなります。

本市教育委員会では、茨木市立義務教育諸学校教科用図書採択規則及び茨木市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会規則に則り、まず、令和6年4月18日に茨木市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会選定委員及び諮問事項を決定し、4月23日に選定委員の任命及び委嘱と諮問を行いました。

次に、選定委員会での決定を受け、5月20日に調査員を決定し、5月24日に任命いたしました。

選定委員会では、調査員会からの報告等を含めて慎重に審議をいただき、7月11日に教育委員会が選定委員会委員長より答申を受け取りました。答申を基に、選定教科用図書とその他の教科用図書について、別表2の1のとおりまとめております。

中学校につきましては、種目ごとに1者の教科用図書の採択をお願いいたします。

最後に、小・中学校共通となりますが、学校教育法「附則第9条関係教科用図書については、必要に応じて採択する」ことの決定をお願いするものであります。

以上、よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

岡田教育長

事務局の説明は終わりました。これより質疑を行います。その前に出席者の自己紹介を行います。

前川委員

教育委員の前川でございます。今年で就任4年目となります。元々は大阪府職員を

しておりました。大阪府教育委員会では3年間人権教育を担当しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

水上委員

教育委員の水上です。よろしくお願いいたします。

堀村委員

教育委員の堀村と申します。よろしくお願いいたします。

城谷委員

教育委員の城谷と申します。よろしくお願いいたします。

岡田教育長

教育長の岡田でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、小学校教科用図書についてであります。

小学校教科用図書につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条及び同法律施行令第15条1項に基づきまして、本年度と同じ教科用図書を採択するというようにされております。別表1「令和7年度小学校教科用図書採択一覧表及び学校教育法附則第9条関係教科用図書について」のとおり、採択することとしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、小学校教科用図書につきましては、別表1「令和7年度使用小学校教科用図書採択一覧表及び学校教育法附則第9条関係教科用図書について」のとおり採択することといたします。

次に、中学校教科用図書について協議をしていきたいと思っております。

公正かつ適正な採択にあたり、教員、保護者等から構成されました選定委員会に諮問を行い、答申を受けております。本市の生徒にとって最適な教科書を採択すること

ができるよう、答申を踏まえ、学校からの意見書、市民からのご意見、大阪府の選定資料等を確認しながら、それぞれの教育委員がこれまで調査・研究を進めてきております。

種目ごとの協議に入る前に、各種目の共通事項であります「ユニバーサルデザインに関すること」「学習者用デジタル教科書に関すること」「二次元コードに関すること」について、全体としてどのように考えるのか、選定委員会の答申を踏まえまして、確認していきたいというふうに思います。

それでは、私のほうから言わせていただきますが、ユニバーサルデザインにつきましては、障害、その他の特性の有無にかかわらず生徒にとって読みやすいものとなるよう、各社ユニバーサルフォントやカラーユニバーサルデザインについて配慮していただいているようです。実際に色覚体験レンズで見え方を確認しましたが、レイアウトを工夫して境目を分かりやすくするなどの配慮も感じております。

次に、学習者用デジタル教科書についてでございます。学習者用デジタル教科書に関しましては、各教科、おおむね策定が予定されております。特に英語に関しましては、令和6年度から紙の教科書と併用して提供されておりますので、音声や動画を再生できるメリットを活かして、英語の正しい発音を繰り返し聞いたり、動画を通じて理解を深めたりすることで有効に活用していくことが大切だというふうに思っております。

次に、二次元コードに関しましては、今回、教科書ではURLやQRコードなどの二次元コードが増えております。掲載されている場所や読み取ることで閲覧できる内容は発行者や教科によっても様々でしたが、実際の生徒の学習とリンクさせてデジタルの良さを活かしていく工夫が今後も必要かなというふうに感じております。

これらのことを踏まえまして、各種目の採択を行うこととしてよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、これから種目ごとに協議をしていきたいと思っております。

選定委員会の答申により、種目ごとに選定された3者もしくは2者について協議をし、1者の教科用図書を決定的に進めます。また、選定外がある場合は、採択の対象

としないことが妥当であるか、はじめに協議を行うこととしたいと思いますが、よろしいですか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、まず国語について、教育委員会として、まず選定外となった「教育出版」の1者について協議いたします。

選定外の理由といたしまして、「教育出版」では、紙面が単調で興味を引きつけにくく、それから、二次元コードがあるが、それが何か説明が書かれていないという、そういうようなところがございました。これが選定委員会からの理由でございます。

これらの意見から、選定外の「教育出版」の1者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「三省堂」「光村図書出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

私は、三省堂は巻頭の領域別教材一覧のつけたい力の記述が多くて、ぱっと見て分かりにくく感じました。これに対して、東京書籍の巻頭の領域別教材一覧、光村図書の巻頭の学習の見通しを持つとは、記述の分量も適当で、分かりやすく感じました。

光村図書と東京書籍を比べてみたんですが、光村図書は、単元への導入、学びへの扉で学習の流れが分かりやすく示されていて、学びのカギ、つけたい力が明確に示されていて、また、教材の読み応えもありました。しかし、少し難しいかと感じました。

これに対して東京書籍は、単元への導入の手引で学習の流れが分かりやすく示され、言葉の力で3年間を通してつけたい力がまとめられていて、また、教材も親しみやす

く、分かりやすいと思いました。ですので、私は東京書籍が良いのではないかと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにご意見。

前川委員

私も東京書籍がいいなと思いました。色合いも落ち着いていますし、中学生にとって見やすいかなと思いました。

あと、光村図書出版なんですが、情報量が大変多いので、全ての中学生が理解できるかというところが疑問に思いましたので、相対的に東京書籍がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかはどうですか。

城谷委員

私は国語の教材、教科書を決めるに当たって、国語という教科の特色として、国語の勉強をすることというのがもちろん基本にはなると思うんですが、教材の中の文章を通していろいろなことを学んでいく教科でもあるというふうに考えました。道徳的なこと、歴史や地理的なこと、理科的な、科学的なこと、物の考え方、そのようなことが勉強していける教科であるというふうに考えて教科書を見させていただきました。

三省堂では、戦争とか平和というようなテーマで、現在侵攻中であるシリアを舞台にした教材があって、そういうところを読むことによって、戦争ということの物の見方、それから感性を養うというようなことができていいかなというふうに思ったんですが、私が一番いいと思ったのは東京書籍で、なぜかという、先ほど言ったようないろんなテーマの文章が教材として入っているというようなことで、その文章自身が見やすくて、中学生が親しみを持って理解できるというような点が一番優れているかなというふうに考えて、東京書籍の教科書がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

東京書籍、三省堂、光村図書出版も、どの出版会社も教材については大変研究をされて、それにふさわしい、それぞれの単元にふさわしい教材を並べられておられるなというふうに思いました。

ただ、私はやはり生徒が一番最初に開いたときに、巻頭のところで少し注目をさせていただいたんですが、巻頭のところでは、三省堂は折り込みが入ってるんですが、思考の地図がとても詳しく載ってるんですけども、いつでも確認ができるようになってるんですが、それが常に活用できるのかなというちょっと難しさを感じました。

その点、東京書籍については、国語の学習を通して、情報社会、防災、平和、いろんな全ての課題がつながって全体を見通せるというふうに、未来へつながってるんだよと、国語の学習はそういうふうに学習していくんだよというふうなメッセージが冒頭開いたところに、国語の学習とはというところで、大変生徒には分かりやすいかなというふうには感じました。

それから、「思考のヒント」のところなんですけれども、情報の整理の仕方について、思考ツールの活用の仕方については、三省堂に比べて大変具体的な記載がありましたので、分かりやすい教科書かなと思いました。私も東京書籍を選択したいと思えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうから、私は、これからのこどもたちにとって何が大事かという、自分の意見をしっかり言えるというか、自分の考えをまとめられる、そういう部分を本当に各教科の中心に考えてきています。

それで、光村のほうは、語彙ブックがあって、自分の思いや考えを表現できるというふうになっていきますので、これはいいかなとは思っています。それと、他教科とかSDGsの関連等が分かりやすく示されているというところがいいかなと思っています。

ただ、東京書籍のほうは、各学年がしっかりと最後の単元のところで、「ことばの

力」を活用して学習の総まとめということで資料を読みながら自分の考えを持てるようになっていくというか、これが1年、2年、3年を通して書いてあるので、その部分はすごくいいかなとは思いますが。私も東京書籍がいいかなというふうに思っております。

それ以外に何かご意見ございませんか。

それでは、各委員のご意見が一応出尽くしたようですので、協議を打ち切ってもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、国語につきましては、各委員のご意見を伺うと「東京書籍」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「東京書籍」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、国語につきましては「東京書籍」を採択することといたします。

続きまして、書写については、教育委員会として、まず選定外となった「教育出版」の1者について協議をいたしたいと思っております。

選定外の理由として、「教育出版」は、教科書が一回りちょっと大きくて、毛筆を行う際に取り扱いにくいというのが一つの大きなデメリットというふうになっているという報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「教育出版」の1者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「三省堂」「光村図書出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

#### 城谷委員

今私たちが使う手書き文章というのは本当に少なくなっているというふうに感じています。パソコンで文章を打ったりスマホで文章を打ったりというようなことが増えてきていますが、でも、やはり手書きならではの良さというものがあるのではないかなというふうに思いました。

私は光村図書出版がいいかというふうに考えたんですが、その理由として、手書きの良さって何だろうというような紹介ページがあったりとかというようなことで、手書きの良さということについて振り返るというような内容が多かったと思いますし、あとは、現在もいろいろな場面で手書きはまだまだ使う機会が多いんですが、日常に役立つ資料というところにおいては、各出版社、準備はされているというふうに思うんですけども、光村図書が一番コンパクトにまとめられていて、今後にもわたってもいろいろな場面でそのようなものが活用していけるのではないかなというふうに感じたので、光村図書出版がいいというふうに考えました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにいかがですか。

#### 水上委員

目次が見やすかったのは東京書籍でした。私は毛筆のほうをちょっと注目させていただいたんですけども、やはり毛筆の場合はお手本をやはり机の横に置きますので、横に置いたときに見やすいのか、使いやすいのかということを見ると、東京書籍、三省堂もやはりちょっとお手本が小さい。2ページ開いたときに片方のページだけですので、右側にお習字の道具を置くと、とても書きにくいし、見づらいというのがありました。折ればいいんですけども、その点、光村のほうは2ページを使って、教科書を縦にしてとても大きく、半紙と同じような大きさのようになっていましたので、大変お手本としては見やすいなというふうには感じました。

それから、資料もたくさんついておりましたので、そこを読むと文字からの興味が大変広がっていくように感じましたので、私も光村図書出版を採択したいなと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

前川委員

東京書籍は身の回りの題材を多く取り上げており、書写で学習したことを生活にどのように活かすか工夫されている点がよかったです。

あと、三省堂はちょっと毛筆の文字が細く、力強さに欠けるような感じがしました。

光村なんですが、先ほど水上委員の発言にもありましたが、毛筆における実寸大のお手本が使いやすく、レイアウトがすっきりしており、見やすいと思いました。また、書写ブックというのが別冊であるんですが、これも使いやすいのではないかと思います。この結果、光村図書出版を採択したらいいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

堀村委員

私もやはり書写は実際に書いてみるのが大切だと思いますので、東京書籍と三省堂のほうは実寸大のお手本が少ないのは少し使いにくいかなと感じました。

これに対し、光村図書は実寸大のお手本も多数掲載されています。また、楷書から行書への変化について、そういうところが壁になったりするかと思うんですけども、親しみやすい行書スイッチというのを使って何が違うのかを説明されており、分かりやすく工夫されていると思いました。

また、文字について多角的な視点で記載されていることや、「自分らしい文字」として著名な作家や漫画家の字を紹介し、文字に書き手の生き方や考え方が表れていることを感じさせるようなコラムが掲載されていました。それらで、より文字への興味関心が高められるように工夫されているのではないかと思います。ですので、私も

光村図書がいいかと思いました。

岡田教育長

私も皆さんが言うておられるように、毛筆の原寸大というのはなかなかレイアウトがすっきりして見やすいなというふうに思っています。

ほかご意見何かございませんか。よろしいですか。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切ってもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

書写につきましては、各委員のご意見を伺うと「光村図書出版」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「光村図書出版」に決めたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、書写につきましては「光村図書出版」を採択することといたします。

続きまして、次は社会（地理的分野）について、まず選定外となりました「教育出版」の1者について協議いたします。

選定外の理由といたしまして、「教育出版」は、日本の諸地域の学習において取り扱う都市を絞り込み過ぎてバランスよく学習をしにくいというのが、選定委員からのご意見が出ております。

これらの意見から、選定外の「教育出版」の1者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「帝国書院」「日本文教出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

3者を比べまして、東京書籍はやはりちょっと字が小さくて読みにくい印象を持ちました。

日本文教出版のほうは、鮮度の高い写真などが掲載されていまして、また、ウクライナ問題が取り上げられて、ヨーロッパの中での意見の対立などがコンパクトにまとめられているなど、現代的な課題も取り上げられていて、良いかと思います。また、用語の解説も詳しいと思います。

帝国書院は、「技能をみがく」のコーナーで、地理を学ぶ上でつけてほしい力が分かりやすくまとめられており、また、やってみようとの問いかけで活動できるようにもなっており、深い学びになるように工夫されていると思いました。また、「アクティブ地理AL」というコーナーもあるんですけども、そこでは地理の思考ツールを使ってグループで話し合えるように工夫されており、主体的で対話的な深い学びが実現できるようになっていると思います。ですので、私は日本文教出版、帝国書院いずれも良いかと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうですか。

前川委員

私は地理の教科書というのはやっぱり見やすく、中学生にとって親しみを持てるかというのが一番大事かなと思いました。そういう意味で、日本文教出版はちょっと写真の大きさが小さく、量も少ないため、分かりにくいと思いました。

この点、帝国書院のほうは写真やイラストが見やすく、地図も視覚に訴える形で掲載されており、私は帝国書院を採択したいと思います。

なお、東京書籍なんですが、実は巻頭に世界の食事を見ようというページがあ

るんですが、それについては、それぞれの国の伝統的な食事を紹介されているんですが、今の多様化した食文化の中では、少し固定的なイメージがあるような感じで、気になりました。

以上です。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

城谷委員

私も地理というのは、いろんな場所、日本のいろんな場所、世界の場所を勉強していく上で、ほとんどは行ったことがない、これからも行くかどうか分からない場所が大半だと思うんですけども、そのような場所に対しては、写真やイラストというのは非常に役に立ってくれるのではないかなというふうに考えました。

写真やイラストが大きくて鮮やかで一番見やすいなと感じたのは帝国書院の教科書でした。特に写真で眺めるというようなコーナーは印象的で、実際に見たことのない地域を具体的にイメージする、視覚的にイメージとして捉えるということに、とてもそういうイラストや写真が役に立ってくれるように感じましたので、帝国書院がいいのではないかなというふうに感じました。

岡田教育長

ありがとうございます。

私は帝国がいいかなと思いますけど、ほかのところもいいところもあって、日本文教出版のところも、ニュージーランドの多文化社会のところですね、この部分は国旗を、ユニオンジャックの国旗ですね、随分とちりばめられてあり、多様性も含めて書いてあると。ただ、植民地という過去の経緯のところですね、もう少し深く入ってくれたらいいかなと思いました。

それから、東京書籍のほうは、植民地の文章があるんですけども、やっぱり国旗の中にこのユニオンジャックの比較があればよかったかなと。それだけ、植民地になって、それからの独立で来てますけど、結局、イギリスの支配下にあったという、それから移民も多かったという、その部分はやはり子どもたちに分かってほしい部分かな

と、こういうふうに私も思っています。

それから、「最も近い隣国、韓国」という題が実は書いてあるんですね。こういう書き方をしているのがこの帝国書院で、やはり一番近い国のことという部分での何かテーマ性があるので、そういう部分は工夫されているのかなというふうに思っています。

それから、日本の子どもたちが地図を見るのに、日本中心の地図しか見たことがないので、ど真ん中に大体日本列島があるというのがあるんですけど、帝国のほうは、ほかの国から見た日本の位置についてということで、地図の記述とか他より詳しくて、日本が全然ひっくり返したような感じになってる、そういうのも、各それぞれの国の地図が中心で見ていくという、そういうところは違う視点ではいいかなというふうに思っています。

これちょっと茨木市と関係あるんですけど、地軸についての説明が帝国ではちょっとありまして、23.4度傾いているという部分で、茨木市はロゴマークの黄色の斜線の角度が23.4度なんですよ。地軸が傾いているから四季があるということで、次に茨木があるというね、次の茨木という、そういうのに結びついたあれがロゴなんですけど、それもちょっとこの帝国の教科書からは子どもたちに分かってもらえるのかなと思っています。

それでは、各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

#### 水上委員

東京書籍は、先ほど堀村委員が言われたように、やはり少し字が小さくて見にくい印象がありました。地理はやはりしっかり写真があって、それから分かりやすいイラスト等、ぱっと見て分かるのがやっぱり生徒には理解しやすいのかなと思いました。

その点で言うと、帝国書院または日本文教出版かなというふうに思いましたが、特にやはり帝国書院のほうは大変色もきれいで見やすい、写真もとても大きくて見やすいというところ辺りが、たくさんページがありましたし、それから、日本の略地図の書き方が日本文教出版よりも少し大きめで、取っかかりやすいのかなというのがありました。それから、少し課題にはなりますが、北方領土についても説明をするときに大きな写真もありましたし、それから位置の関係、それから地図も大変分かりやすく説

明がしてあったなというふうには感じました。私も帝国書院を選択したいと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

ほかに何かご意見ございませんか。付け加え等ありませんか。よろしいですか。

それでは、各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切ってもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

社会（地理的分野）につきましては、各委員のご意見を伺うと「帝国書院」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「帝国書院」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、社会（地理的分野）につきましては「帝国書院」を採択することといたします。

続きまして、社会（歴史的分野）につきまして、教育委員会として、まず選定外となった「教育出版」「山川出版」「自由社」「育鵬社」「学び舎」「令和書籍」の6者について協議いたします。

選定外の理由として、まず「教育出版」は、人権の取扱いの観点における記述があまり、少ないというか、十分ではない。「山川出版」につきましては、中学校社会であまり取り扱わない人物や制度等の名称が太字で記載されていると。「自由社」につきましては、全国水平社に関する内容が少ないなど、全体的な内容のバランスが気になる。「育鵬社」につきましては、差別を受けてきた人たちに関する内容が少なく、資料もあまりない。「学び舎」につきましては、教科書のサイズが大きく、本文に太

字の語句がないなど、取扱いがしにくいということ。「令和書籍」につきましては、461ページもあり、縦書きで、巻末以外の資料は白黒であり、中学生にとっては学びにくいと。こういうふうなところが選定外の理由として報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「教育出版」「山川出版」「自由社」「育鵬社」「学び舎」「令和書籍」の6者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「帝国書院」「日本文教出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいりますので、各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

私は戦争についての記述について比べてみました。帝国書院は、当時の人たちの手記とか、中学生の生徒たちと同年代の広島原爆で亡くなった少女の日記などが掲載されていて、自分のこととして戦争を捉えて、戦争の悲惨さが子どもたちに伝わるような構成になっている点が非常に良いと感じました。その点、東京書籍と日本文教出版はそのような記載が少ないと思いました。

そのほか、帝国書院は、導入部分の「歴史の謎を探ろう」というコーナーにおいて、身近なところにある場所や風景から歴史の痕跡を探っていく、謎解きしていくようになっていて、現代に生きる私たちとのつながりがイメージできて、歴史に対する興味関心を高めるように工夫されていると思いました。

また、タイムトラベルで当時の世界に没入できるような工夫や、人権に関する記載も、ただ差別があったことだけではなく、不可欠な仕事を担っていたことなども併せて詳しく記載されている点なども良いと感じました。ですので、私は帝国書院の教科書が良いかと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかに。

#### 前川委員

東京書籍は人権尊重や文化共生のポイントについての記載が丁寧であるなど感じました。

次に、帝国書院なんですが、「世界のつながりを考えよう」など学習しやすい地図が多用されているのと、先ほど堀村委員からもありましたが、時代ごとの冒頭にあるタイムトラベルがあることで学習に入りやすく、イメージしやすいということで、私は帝国書院を採択したいと思いました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうですか。

#### 水上委員

私もやはり戦争、それから人権、それから多文化共生、それから女性の社会進出というあたりでちょっと見させていただいたんですけども、日本文教出版のほうは、全国水平社については詳しく記載をされていました。ただ、沖縄戦についてはあまり詳しく記載をされていまして、反対に帝国書院のほうは見開き2ページで沖縄戦について詳しく記載をされております。

それから、先ほどもありましたが、広島の子供の日記が取り上げられて、生徒が戦争や、それから平和についてしっかり考えられるのかなというふうには感じました。それと、大正時代の女性の社会進出をめぐる環境についても帝国書院のほうは触れられておりましたので、私も帝国書院を選択したいなと思いました。

ただ、東京書籍のほうは、原子爆弾の投下後の広島の写真が大きく掲載されていて、大きな被害を受けた広島についてのイメージが広がっていくのかなと。中学校では小学校に続いて原子爆弾の投下については勉強はしていると思いますが、大きな写真があるということで大変分かりやすいのかなというふうには思いました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。

## 城谷委員

私は歴史について、日本の歴史を学びながら世界の歴史と比べるとか、日本と世界はつながっているの、そのような観点が分かりやすいところがいいかなというふうに思って、帝国書院がいいのではないかと考えました。

特にこの「世界とのつながりを考えよう」というようなところでは、同時代に日本の歴史はこう、世界の歴史はこんなふうになっているということがイラストつきで書いてあって、日本のこの時代は世界史で言うところの時代で、世界ではこんなことが起こっていたんだということが理解しやすくなっているように思いました。

また、「歴史を探ろう」という部分では、日本の歴史についてすごく詳しく掘り下げている部分があって、ある歴史についての日本の都市についてより深めて学習ができるというところがあり、国内のことをより深く理解できるというところがいいというふうに考えたので、帝国書院がいいと考えました。

## 岡田教育長

ありがとうございます。

私もこの3者は全部読ませていただいて、いいところもあれば、ちょっとなところ、3者ともあるかなと思います。その中でどれがいいかなと考えていたんですけど、まず、全国水平社のところ、ここをしっかりと書かれているのが東京書籍と日本文教出版ですね。この辺は深く入っていけるかなとは思いますが。

それから、「侵略」という言葉ですね。慶長の役とかその辺のところの「侵略」の文字をちゃんと書いてあるのが東京書籍と日本文教出版だと思うんですね。韓国併合のところの植民地化について、どこも「侵略」って書いていないんですが、本当は3者とも「侵略」って書いてほしかったけど、なかなかそうは書かれてないのが、私自身がやった中ではちょっと、もっと踏み込んで書いてほしいなというふうには思うし、植民地化というのは「侵略」なので、私はそういうふうに思いながら読んでいました。

それから、東京書籍のほうで、日本の人物の写真のところに出身の県名が書いてあるんですね。これ何の意味か僕はよく分からなくて、初めてこれを見て、その時代にその県があったのかどうかも含めて、ちょっと何か違和感があって、なぜ書いてあ

るのかなと。だから、茨城県だったら茨城県の出身の写真のところは、その茨城県の子どもたちにとってはそこが、うちの県からこんな人が出たのかというふうなイメージでやっていくのかなと思うんですけど、そういう県がない、写真がないところはどうするのかなと思いつつ見させていただいて。初めてなんですね、こういうふうに日本のいろんな方の写真のところに県名が書いてあるというのはね。どういうふうな使い方をするのかちょっと疑問に思ったところです。

帝国書院のいいところは、やっぱり沖縄戦に関して、ガマでの出来事を詳しく書かれていると。やはり茨木市の子どもたちは、沖縄じゃないので、逆に言えば沖縄に修学旅行行ったりしていますけど、やはりその歴史というか、今現在でもやっぱり歴史があって、そういうところはしっかりと学んでほしいというふうに思っています。

それともう一つが、植民地化、支配された側の資料というのが帝国書院にはありまして、インドネシアの教科書が載ってまして、こういう大東亜共栄圏の中で、日本がおごり上がった形で、私が行ったときに思っているんですけど、それを、日本側からでなくて、やっぱり支配された側から書いていて、やはり日本に対しての憤りというか、それがその国の教科書に載っているというところが掲載されているので、やはり見方を変えれば、やはりいろんな歴史の視点で子どもたちに考えてほしいというのがあって、これはよかったかなというふうに思っています。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切ってもよろしいでしょうか。ほかにご意見ございませんか。よろしいですか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、社会（歴史的分野）につきましては、各委員のご意見を伺うと「帝国書院」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「帝国書院」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、社会（歴史的分野）につきましては「帝国書院」を採択することといたします。

それでは続きまして、社会（公民的分野）について、教育委員会として、まず選定外となりました「東京書籍」「自由社」「育鵬社」の3者について協議いたします。

選定委員会からの報告につきましては、まず「東京書籍」につきましては、小学校での学習や他教科の学びとの連携の面が十分ではない。「自由社」につきましては、全体的にイラストや図が少なく、文章が多い構成のため、生徒は内容に対する理解が深まらないのではないかと。「育鵬社」につきましては、1ページ当たりの情報量が多い。また、図やイラスト、説明文で多くの色を1ページに多用しているため集中しづらい構成になっているのではないかと。そういうふうな報告を受けております。

これらのご意見から、選定外の「東京書籍」「自由社」「育鵬社」の3者については採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

（各委員「異議なし」の発言あり）

#### 岡田教育長

それでは、選定されました「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

#### 城谷委員

私は帝国書院がいいと考えました。その理由として、この教科の中でいろいろなことをみんなでディスカッションするというようなことが多く行われるのではないかと、いうふうに考えるんですけども、そのテーマとして、マンションでの騒音問題、それから赤字バス路線に税金を使うべきかといったような非常に身近な問題がテーマとなっていることがいいかなというふうに感じました。

身近な問題に対してですので、比較的私たちが将来、こどもたちも将来接することがあるような問題で、そのようなことに対してどのように自分の意見をまとめるのか、どのように人の意見を聞いてそれと折り合いをつけていくのかというようなことで、ディスカッションをする場合に、とても充実したというか、やりやすい教材になって

いるのではないかなというふうに考えましたので、帝国書院がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

前川委員

帝国書院なんですけど、家族と社会の変化、核家族、単独世帯の問題、それに関する記述がありまして、非常に現実に即した形で教えることができるんじゃないかと思いました。また、学校制服に関する内容が丁寧に取り扱われていました。

一方、日本文教出版なんですけど、「地球温暖化に対する施策について考えよう」というのがあるんですけど、これについては、事実上、各政党の政策から支持、不支持を選択させるというような項目なんですけど、政策にそれぞれ一長一短ありますので、むしろ中学生にはそれを選択させるんじゃなくて、その一長一短を勉強するのが大事なのではないかなと思いますので、これは適切でないと思いました。

また、家族と社会に関する項目の内容が、一部伝統的な家族関係の記載となっており、実態に合っていないんじゃないかなと思いました。私としては帝国書院を採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうですか。

水上委員

帝国書院が生徒の学び方としては、教科書を活用したときに大変分かりやすく説明がしてあったなというふうに思いました。単元通して学びを振り返って、そしてコラムや二次元コードなどを使ってそれを活用するというので、生徒たちにはこういうふうに学習を進めたらいいですよというふうに、先生たちのやり方もあると思うんですけども、先生たちも見やすく、授業の進め方が分かりやすく書いてあるのかなというふうに思いました。大変コンテンツの活用なども分かりやすく説明をされていました。

それから、人権問題で言うと、全国水平社やLGBTQ、それからハンセン病などの変遷に関する資料が、コラムや未来に向けてというコーナーで実際に人権作文があったりというところ辺で、生徒の読み物としては大変興味深い、理解を進めるものになっているのではないかなというふうに思いました。私も帝国書院を選択したいなど思っております。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかに。

堀村委員

私も帝国書院の教科書がいいのかなと思いました。先ほどからおっしゃっているんですけど、「アクティブ公民」というコーナーがあって、身近に感じられる内容を生徒たちが対話を通して様々な立場から考えて、深い学びにつなげるように工夫されていると思います。また、「未来に向けて」のコーナーでは、中学3年生の作文が掲載されるなど、生徒自身が自ら考えることができるように工夫されてると思いました。また、「18歳の準備」というコーナーがあったんですけども、ここでメディアリテラシーや契約、ライフプランや金利など、成人に向けて習得しておきたい実践的な知識が掲載されていまして、中学生の間に身につけてほしい知識を学習できると感じました。

教育出版については、自由権に関する記載がすごく丁寧に書かれてはいるんですけども、「精神活動の自由」の項目で、思想・良心の自由のみが触れられていて、表現の自由や信教の自由などが別項目に記載されているので、少し生徒にとって分類が難しく感じられる可能性があるのではないかと懸念しました。ですので、私も帝国書院がいいかと思えます。

岡田教育長

私、公民は特に人権についてしっかりと書かれている教科書がいいかなと、こう思っているんですけど、教育出版は割と人権に関しては取扱いというページが多くて充実しているなというふうに思っています。

それから、帝国書院につきましては、人権の中で差別されない権利に関してしっか

り書いていると。今まであまりこういう視点じゃなくて、やっぱり差別される人側からの差別されない権利というか、それが書いてあるなというふうに思って。それからもう一つが、貧困問題についても資料を基にディスカッションできるような工夫があるかなというふうに思っています。

ほか何かご意見ございませんか。よろしいですか。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

社会（公民的分野）については、各委員のご意見を伺うと「帝国書院」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「帝国書院」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、社会（公民的分野）につきましても「帝国書院」を採択することといたします。

それでは続きまして、地図については、選定委員会では「東京書籍」「帝国書院」の2者が選定されております。

地図の発行者は2者だけありますので、2者について併せて協議したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、各委員のご意見をお願いいたします。

#### 堀村委員

地図ですけれども、まずやはり自分たちが住んでいる茨木市を調べるのかなと思うんですけれども、東京書籍は地図の市町村の境界が黒い点線で書かれていて、茨木市の範囲が分かりにくいと感じました。これに対して、帝国書院は市町村の境界も黒い点線の上に赤のラインが入っていて、範囲が分かりやすくなっていると思います。

また、東京書籍は各地方の地図と地図との間に資料があるんですけれども、構成が少し分かりにくいのかなと。これに対して、帝国書院は各地方の地図の最後に資料のページがあって、分かりやすくなっているかと思います。

そのほか、帝国書院は、地図の色合いなども見やすく、イラストが添えられている箇所もあり、生徒の興味を引くように工夫されている点や、また、地図の中に防災拠点の情報等も添えられているのでいいかと思いました。ですので、私は帝国書院が良いかと思います。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにご意見ございませんか。

#### 城谷委員

地図に関しては、見やすさというところが大切かというふうに感じました。全体的に色合い、文字が見やすいのは帝国書院だというふうに考えました。

さらには、地域を広く見たときの地図として、東京書籍は鳥瞰図を資料として掲載されているんですけれども、海を含めた高低差が意識できるのは分かりやすいかなというふうに思ったんですが、ただ、それぞれの地域の具体的な地名等の記載が少なく、一体この山はどこに当たるんだろうとか、この辺はどこなんだろうというのがちょっと分かりにくい印象がありました。

それに比べて、帝国書院の眺めてみようというような同じようなコーナーでは、高低差が分かりやすいだけでなく、その地図の中のイラストの中に都市名等が入っているために、この地域のこの山はどの地域に、どの場所に当たるんだというようなことが非常に分かりやすくなっていて、そういう点も生徒たちの理解を深める上でとても役に立つのではないかなというふうに考えましたので、帝国書院がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

前川委員

東京書籍と帝国書院を比較したんですが、私としては帝国書院のほうが文字が見やすく、色合いも配慮されているという点と、あと、「地図で発見」というコーナーがあるんですが、これが発展的な学習には効果的であるということから、帝国書院を採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

それぞれの委員さんがおっしゃられたように、やはり大変見やすいという点では、帝国書院かなというふうに思いました。

先ほど鳥瞰図のお話も出たんですけども、鳥瞰図の帝国書院のほうは、大変それぞれの都市、それから名称がはっきりと本当に分かりやすくなっていますので、イメージとしては大変捉えやすいのかなというふうには感じました。

それと、SDGs に関しての情報が大変帝国書院のほうは豊富に記載をされておりまして、分かりやすく表示されているというところ辺では、私も帝国書院のほうを採択したいなと考えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

私も意見としては帝国書院がいいかなと。見やすいというのがありますけど、ただ、こどもたち、茨木のこどもたちにとって、地図の中に茨木のものを描いてあるというのが一番かなと思って。東京書籍のほうは茨木の地図のところに牟礼遺跡と、それから太田茶臼山古墳が掲載されています。それが学べるかなと思って、もう一つが、帝国書院のほうは近畿の地図のところに茨木の情報として東奈良と郡の遺跡が載って

いますので、そういう部分も含めて、両方どちらを取っても遺跡を学ぶことができるかなど、こういうふうにちょっと思いました。

そのほかに何かご意見ございませんか。よろしいですかね。

各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切ってもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

地図につきましては、各委員のご意見は「帝国書院」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「帝国書院」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、地図につきましては「帝国書院」を採択することといたします。

それでは、休憩させていただきます、後ほど続きをやりたいと思います。よろしくをお願いします。15時10分に再開いたします。

休 憩 (15時 2分)

再 開 (15時10分)

岡田教育長

それでは、再開いたします。

次は数学になります。数学については、教育委員会といたしまして、まず選定外となった「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」の4者について協議いたします。

選定外の理由といたしまして、まず「大日本図書」につきましては、導入で扱われる内容が章全体の内容との関連性が低い。「学校図書」につきましては、男女の人数

の割合を決める問題があり、人権における配慮が不十分である。「教育出版」、平面図形において「作図」から「図形の移動」の順番での学習になっているため、図形の特性が身につけていない生徒にとってはイメージしにくい。「新興出版社啓林館」、全体的に圧迫感があり、書き込み等がしにくいというふうなものが選定委員会のほうから報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」の4者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、「東京書籍」「数研出版」「日本文教出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

城谷委員

数学の教科書については、スモールステップで少しずつ少しずつ生徒たちが学習して理解していくということが大切でないかというふうに考えました。日本文教出版は図形の証明が丁寧であるというようなことはありましたが、やはりスモールステップでの学習が丁寧に行われているというのは東京書籍であるというふうに考えました。

数研出版は、その点において難易度がやや高いというふうに考えられるので、全ての生徒にとって取り組みやすい教材というには少し難しいのではないかなというふうに考えましたので、東京書籍が好ましいのではないかと考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。

前川委員

私も東京書籍のほうのスモールステップで学習できるように配慮されているので、

数学が不得意な生徒にとっても学びやすいのではないかなと思いましたので、東京書籍を採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

堀村委員

数学好きになるために、なぜ数学を学習するのかという意義を感じやすいものがないのかなと思いました。その点、東京書籍は、日常生活とか社会、他教科と関連がある身近な課題から疑問を解決していくと、数学で解決できるんだというのが分かるような構成になっているために、数学を学習する意義を感じやすいと思いました。

東京書籍と比較して、数研出版や日本文教出版は課題の内容が少し身近な内容から遠いと感じましたので、学習意欲につながるという点では東京書籍のほうがいいのかなと思いました。

東京書籍のほうは、またさらに巻末のまとめも分かりやすく、「数学の自由研究のコーナー」というのがあるんですけども、そこで日常生活や他教科の学習と関連した探究的な学習を行っていくこともできるようになっていて、これらも良いと感じましたので、私は東京書籍がいいかと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

紙面を見ましたら、3者のうちでやはり東京書籍が大変色合いが優しく、字間がとてもちょうどいい、見やすい間隔が取ってあって、大変ゆとりもあって見やすい紙面だなというふうに感じました。それから、スモールステップ、先ほどからおっしゃられています、スモールステップで数学が苦手な生徒も順番に理解しやすくなっているのではと思いました。

それから、空間図形の単元では、なかなかイメージが湧くのが難しいとは思いますが、実際、立体模型を作るために付録がついていますので、それを作って、実際に

授業で理解が進むことができるのかなと思いました。

それから、どの教科書も索引がついているんですけども、東京書籍は、一つこれは特徴的なところとして、全部ではないんですけども、索引のところが文字だけではなくて、一部図形の絵があったりとか、大変イメージしやすく、分かりやすく、思い出しやすくなっているのではないかなと。その辺では、生徒が用語の意味をもう一度振り返りやすい工夫がされていると思いました。私も東京書籍を選択したいと思えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも、一つ相似の導入のところですね、ここの事例が分かりやすいかなというふうに思います。ほかのところもちょっとあったんですけど、今スマホなんかでも拡大するとそのままずっと大きくなるという、これが相似のところ、最初導入のところを使っているというのは今のやり方かなと思いますので、タブレットもそういうような形で使えるのかなと思っています。

それから、2年生の文字式の例題の通分のところですね。これが変換が分かりやすくなっていると。続く問題も同様にそういうふうに段階を踏んでいると。具体例を挙げると、2分の何とかと、それから4分の何とかというのが、実は東京書籍が最初に書いてあって、ほかの教科書のところの例題のところは2分の何とかと3分の何とかとなっているので、通分のやり方としては東京書籍が分かりやすいというかね。だから、分数が苦手な子どもにとって、生徒にとっては導入としては良いのかなというふうに思います。

各委員のご意見出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、数学につきましては、各委員のご意見を伺うと「東京書籍」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「東京書籍」に決めたいと思

いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、数学につきましては「東京書籍」を採択することといたします。

続きまして、理科についてです。理科につきましては、教育委員会として、まず選定外となった「大日本図書」「教育出版」の2者について協議いたします。

選定外の理由として、「大日本図書」は、二次元コードによる資料が少ないため、科学的に考えたり日常生活につなげたりするための材料が少ない。「教育出版」につきましては、端から端まで文字が連なっていて、配慮が必要な生徒にとって行を飛ばしてしまう懸念等があるということが一つの懸念材料として報告を受けております。

これらの意見から、選定外につきましては、「大日本図書」「教育出版」につきまして採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「学校図書」「新興出版社啓林館」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

3者比べてみたんですけれども、東京書籍のほうは本文の説明や資料などの区別が分かりにくくて、少し読みづらさを感じました。学校図書は、つるつるした紙や課題やまとめの欄も小さくて、書き込みをしにくいかと思います。

啓林館は全体的に図やイラストが分かりやすく、生命の分野を読み比べましたが、ほかの出版社に比べて説明も整理されていて、理科に関する興味関心を引く記載も多くあり、理科を好きになる工夫がなされていると感じました。また、江戸時代に与謝蕪村が見た月はどのような月かなど、理科の知識で他教科の謎を解くという他教科と

の関連づけや工夫も充実していると感じました。ですので、私は啓林館がいいかと思  
います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

前川委員

学校図書なんです、理路整然という読み物があるんですが、これはちょっと内容  
が難しいなと感じました。

また、東京書籍は様々な職業の人のコラムがあって、生徒の注目を集めるような、  
日常生活や社会に関連づけた内容となっているのはいい点だなと思いました。

あと、啓林館なんです、顕微鏡の使い方などがまとめられた「サイエンス資料」  
や「探Qシート」というのがあって活用しやすいということで、東京書籍と啓林館を  
比較した結果、私としては啓林館を採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

東京書籍は科学の本だなというところがありまして、その学年の学習内容に関連の  
ある本を紹介しているので、学んだことを次につなげる、深めるというところ辺では  
工夫がしてあるなと思いました。

学校図書のほうは、先ほど前川委員がおっしゃられたように、理路整然という読み  
物があるんですけども、ここは私も内容は少し読み進めるには難しいと感じました。

啓林館は全体的にイラスト、それから写真を大変上手に使ってまして、全て写真  
ではなくて、写真では分かりにくいところはイラストを使ったり、大変分かりやすく、  
うまく分けて表示をされているなというふうに感じました。

それと、実験のコーナーなんですけれども、注意マークがぱっと見て分かりやすい  
表示になっておりまして、詳細も細かく記載をされておりますので、これも生徒にと  
っては、それから教師にとっても分かりやすい教科書かなというふうには思いました。

私も啓林館のほうを採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

城谷委員

先ほどから意見も出ていますように、学校図書にあります理路整然、それからA Iの理科マス！という教科書アドバイザーへの質問というのは、比較的発展的な学習には有用であるというふうに考えますが、全生徒にとっては難易度が高い場合もあるのではないかなというふうに感じました。

あと、東京書籍と啓林館となんですけれども、東京書籍のほうの写真が多用してあるというような特徴があるというふうに思います。ただ、実験の写真、それから植物も実際の写真というのは、実際に写真で見ると、イラストに書かれてあるほうが理解の助けになるというようなこともありますので、東京書籍の写真がたくさん掲載してあるというものよりは、啓林館で、写真だけではなくて、写真が必要なところは写真を、写真よりもイラストが理解を深めるために適切だというふうに考えるところにはイラストをとるように、適宜使用してあるというふうなところのほうが生徒たちの理解が得やすいのではないかなというふうに考えて、啓林館が良いかなというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。

私の意見としても、啓林館のほうが生命、それから地球、物質、エネルギーという内容の分け方ですね、これは3年間一緒に分かりやすいかなというふうに思います。

それから、小学校でどこまで教えているのか、ちょっと私も今分からないんですけど、ガスバーナーの使い方ですね。ここはマッチが本当に家にあるのかどうか分かりませんが、マッチでつけるような形で、その使い方がすごく、啓林館のほうが消すところまできちっと書いてあるというか、そういうちょっと細かい配慮があるのかなと思います。

それでは、各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろ

しいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

理科につきましては、各委員のご意見を伺うと「新興出版社啓林館」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「新興出版社啓林館」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、理科につきましては「新興出版社啓林館」を採択することといたします。

続きまして、音楽（一般）については、選定委員会のほうでは「教育出版」「教育芸術社」の2者が選定されております。

音楽（一般）の発行者は2者だけでございますので、2者について併せて協議したいと思います。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

2者を比較して、教育芸術社のほうがめあても含めて分かりやすく、親しみやすいと感じました。また、二次元コードを読み込むと、創作ツールが用意されていて、端末を活用して創作して、それを演奏させるということも可能となっていて、生徒自身が自分たちで音楽を作っていくのに有効であると思いました。ですので、私は教育芸術社が良いかと思えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

前川委員

私は教育出版と教育芸術社を比較してみて、教育芸術社のほうが内容の程度が比較

的易しく、音楽の苦手な子どもも取り組みやすいという点と、あと著作権についての記載が充実しているということで教育芸術社を採択したいと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

城谷委員

私は、教育出版もデジタルコンテンツで歌とイメージ映像を聞くことができ、感性が広げることができて、そういう点は教育出版はいいのかなというふうに思ったんですが、教育芸術社の創作ツールがとても面白いなというふうに感じました。最近の若者たちの音楽の作り方、作曲の仕方というのに、楽器を触ったこともない、楽譜も読めない、でもデジタルで音楽を作曲することができるようになってきているというようなことはよく聞く話で、音楽に親しめる裾野が広がっているように思うんですけども、そのようなツールの活用の仕方が教育芸術社の中には含まれていて、その導入というところではあると思うんですけども、学校でそういう導入を教えてもらえるというのは、今後の音楽への親しみという選択肢を広げる上でとてもいいのではないかなというふうに考えましたので、教育芸術社が良いと感じました。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

教育芸術社のほうは、巻頭に子どもたちが身近に感じる、よく知っている著名人から音楽を楽しむメッセージがありましたので、生徒たちはとても読みやすいのかなというふうに感じました。教育出版も同じようにはあるんですが、教育芸術社のほうがより生徒たちがよく知っている著名人が出ていましたので、見やすいのかなというふうに感じました。

それから、楽典が折り込み式ではなくて、すぐに確認できるというところも良いなというふうに感じました。

君が代については、教育出版のほうも裏表紙のほうに掲載をされているんですけれ

ども、教育芸術社のほうが大きく分かりやすく掲載されていますので、この点においても教育芸術社のほうが優れているかなというふうに思いましたので、採択したいなと考えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも、教育出版のほうはちょっと残念なところが、この二次元コードを含めて、カラピアノ等で自ら活動ができるという、そういうツールがちょっとないので、パートの練習をちょっとしづらいかなというふうに思います。

それから、教育芸術社のほうは、本当に多様なジャンルの紹介があって、親しみやすいものが多いというふうに私も思います。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

音楽（一般）につきましては、各委員のご意見を伺うと「教育芸術社」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「教育芸術社」と決めたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、音楽（一般）につきましては「教育芸術社」を採択することといたします。

続きまして、音楽（器楽合奏）については、選定委員会では「教育出版」「教育芸術社」の2者が選定されております。

音楽（器楽合奏）の発行者は2者だけありますので、2者について併せて協議したいと思います。各委員のご意見をお願いいたします。

#### 前川委員

教育芸術社のほうなのですが、器楽演奏のほうが、リコーダーの次にギターという流れがあって、それがいいなと思いました。また、合奏のためのアンサンブルも子どもたちの興味関心を引く教材を集めています。

教育出版のほうは、少し楽器の紹介というのがなじみがないものが先に来ているような感じがするので、私としては教育芸術社を採択したいと思いました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかに。

#### 水上委員

両者ともちょっとリコーダーのところを見てみたんです。どちらも冒頭にリコーダーが出てますので、見させていただいたんですけれども、その中でアーティキュレーションという技法があるのですが、ここは吹き方で音楽の雰囲気が変わるというところなんですけれども、教育出版のほうはQRコードを読み取ると、実際の音が聞けるので、いろんなアーティキュレーションの比較がとてもよく分かるんですけれども、ただ、実際に生徒がやってみようという曲の部分が1曲しかなくて、説明がとても小さい部分でしかなかったです。

それに比べると教育芸術社のほうは、実際にアーティキュレーションの種類については聞くことはできないんですけども、実際にワークシートがあったり、実際にやってみて生徒がどう感じたのかというふうにお互いに意見を言い合って、じゃあ次どうしようというふうに生徒たちが考えられる、そしてリコーダーを、より良いものに演奏できるというような様子がありましたので、この辺で見ると、教育芸術社のほうがちょっと優れているかなというふうに思いました。

それから、先ほども前川委員からもありましたけれども、単元の並び方、配列の仕方が生徒になじみやすい配列になっているのかなというふうには感じました。教育芸術社のほうを採択したいと思います。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

#### 堀村委員

教育芸術社のほうは楽器の演奏の譜面に二次元コードが掲載されていて、それを読み込むと、その伴奏が流れるようになっています。伴奏に合わせて自ら演奏することができるという配慮がなされていますので、主体的に個別の学習ができるように工夫がなされていると感じました。そういう点において教育芸術社のほうが良いかと思えます。

#### 城谷委員

私も教育芸術社のほうがいいと思うんですが、その理由として、まず表紙のイメージなんですけれども、子どもたちが楽しそうに楽器を使っている、演奏しているというような表紙のイメージで、とても親しみやすいなというふうに感じたのがまず手に取ってみた印象でした。

それから、先ほどからもほかの委員の発言にもありますように、楽器の紹介の順序ですが、教育芸術社はリコーダーの次にギターというように、実際、生徒たちが興味を引きやすい、そういう順番で楽器が紹介されているように感じました。

教育出版のほうも、日本伝統の楽器、篠笛だとか尺八だとかお琴だとかというのは、日本伝統の楽器として大切だというふうには思いますけれども、中学生の生徒にとっては古めかしいだとか、ちょっととっつきにくいというふうに感じないかなというふうな懸念がありましたので、教育芸術社がよろしいかというふうに考えました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうからも、リコーダーのところですね。実は茨木の中学校のほうではまだソプラノのリコーダーを使っているところが多くて、教育出版のほうがちよっとアルトリコーダーの譜面が多いと。だから、結局、リコーダーをするときに別途楽譜を用意しないといけないというような状況がちよっとあるかなと。逆に教育芸術社のほうはソプラノリコーダーの譜面が多くあって、本市の実態に今のところは合っているかなというふうに思っています。

それでは、各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては、各委員のご意見を伺うと「教育芸術社」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「教育芸術社」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては「教育芸術社」を採択することといたします。

続きまして、美術については、選定委員会では「開隆堂出版」「光村図書出版」「日本文教出版」の3者が選定されております。

美術の発行者は3者だけありますので、3者について併せて協議したいと思えます。各委員のご意見をお願いいたします。

城谷委員

光村図書出版では日本の絵画を楽しむという特設ページが設けられていて、日本の絵画、それから仏像についてとても詳しく書いていて、日本文化に親しむことができるというのはいい点かと思いました。

ただ、私が採択の上でいいと思ったのは開隆堂で、まず表紙の手触りが立体的で、とても生徒たちの興味を引きやすいものではないかなというふう感じたことと、その教材の中、いろいろな点で感性を刺激するような工夫、実際に描く以外に、物を作る、それから鑑賞する、いろんなポイントで子どもたちの感性をより刺激するような工夫が多く出されているように感じました。よって、開隆堂の教科書がいいというふう感じました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

堀村委員

私は光村図書も開隆堂もいいかなと思いました。光村図書はピカソのゲルニカとか最後の晩餐、風神雷神など、臨場感のある写真が多く掲載されていて、教科書を通じて美術を鑑賞できるようになっているかなと感じました。また、身近な素材や風景や事物を用いた具体的な表現活動例が多く扱われていて、身近なところに美術があるんだということを感じさせてくれるようになっているかと思いました。

開隆堂のほうは、技法に関するデジタルコンテンツとかワークシートが充実していることや、教科書全体の色合いが落ち着いていて見やすく、また絵画、工芸、鑑賞と1年間の授業計画が意識されていて、学習の流れが分かりやすく感じました。

どちらの教科書もいいのかなと思うんですけども、学習のしやすさというところから考えれば、開隆堂のほうが良いのかなと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

前川委員

日本文教出版は紙面構成として写真が少し小さいのではないかと感じました。

光村については、ピカソのゲルニカだけでなく、近年の作家を豊富に扱っていて、生徒にとっては刺激になるのではないかなと思いました。

開隆堂については、全体的に見て色合いがきれいで学びやすく、またインパクトも感じますので、やはり美術の教科書としては開隆堂が一番いいんじゃないかと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

## 水上委員

それぞれの単元のところに画家の作品がきちんとバランスよく掲載されていて、生徒の作品も大事なんですけれども、生徒の作品も当然載っている、掲載もされているんですけれども、画家の作品もあって、専門的により良い作品というのか、本物の作品が載っている、鑑賞もできるというところ辺では、バランスよく配置されているのかなというふうに思いました。

これが開隆堂なんですけれども、反対に日本文教出版のほうは、学びの資料というところ辺では、美術を支える資料が豊富に掲載されているので、ここは工夫されていていいかなとは思ったんですけれども、開隆堂は全体的にとてもこどもになじみやすい題材が豊富に取り上げられていますし、冒頭にも取り上げられていますし、それから、先ほどもありました表紙の手触りが大変インパクトがありましたので、私はこの開隆堂がいいかなというふうに思いました。

## 岡田教育長

ありがとうございます。私も表紙の手触りが、初めての感じで、インパクトがあったのかなという。

ゲルニカにつきましては、開隆堂と光村と両方ちょっとあって、光村のほうが大きく取り上げられている部分があるんですけれども、開隆堂のほうはピカソがデッサンを少しずつ変えていっている様子があって、最初は、実は途中で色彩があったのを最終的には色を消してるというふうに、怒りで書いたわけじゃなくて、ピカソの心の揺れ動きみたいなのが丁寧に書いてあるので、それはちょっとこどもたちにも分かってほしいなど、こういうふうに思って、開隆堂がいいかなと思います。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

## 岡田教育長

それでは、美術につきましては、各委員のご意見を伺うと「開隆堂出版」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「開隆堂出版」に決めたい

と思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、美術につきましては「開隆堂出版」を採択することといたします。

続きまして、保健体育については、教育委員会として、まず選定外となった「大日本図書」の1者について協議いたします。

選定外の理由として、「大日本図書」は、写真やイラストが豊富であるが、その分情報量が多くなり過ぎているという報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「大日本図書」の1者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「大修館書店」「G a k k e n」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいりますので、各委員のご意見をお願いいたします。

前川委員

放射線に関する記載を比較してみたんですが、大修館書店のほうはあまり詳しく書かれていません。東京書籍のほうは内容としては非常に詳しく説明はされています。あと、G a k k e nについては、放射線について詳しく説明されているのみならず、非常時に身を守る方法が具体的に記載されているので、この点はいいかなと思います。

また、調和の取れた生活のための1週間の生活チェック表というのがあるんですが、これも活用しやすいということで、私としてはG a k k e nがいいと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

## 水上委員

東京書籍なんですけれども、教科書の使い方が大変イメージしやすく、コンテンツの使い方も詳細に記載されていますので、生徒も授業の流れが分かりますし、それから教員も見通しが持ちやすいのかなと思いました。それから、巻末のスキルブックはとても分かりやすく掲載されていました。ここは生徒の役に立つかなと思いました。

それから、G a k k e nなんですけれども、受精の瞬間について1ページを使って大変大きく紙面が出てるんですけども、そのあたりを東京書籍とちょっと比べたんですけれども、東京書籍のほうはグラフを使って大変分かりやすく記載されていますので、受精の瞬間の大きなページを取るよりも、もう少しG a k k e nのほうはほかのグラフを見やすくしていただけたらなというふうには思いましたので、ここまで大きく取り上げる必要はなかったのかなというふうには感じさせていただきました。

それで、私のほうは、東京書籍のほうが全体的に分かりやすく、それから、キャラクターが出てきますので、このあたりも親しみやすいのかなというふうには思いました。

## 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

## 城谷委員

保健体育の教科書の中では、私は医師としての立場から、ストレスの対処の仕方、それから実際の薬物や飲酒の取扱い、それからA E Dの使い方、けがをしたときの手当てというようなことをしっかり学んでほしいなというふうに考えました。

そういうところで比較をすると、大修館書店の教科書が最もストレスに対しての対処の仕方も詳しく、具体的な事例から考えられるようになっていましたし、先ほど言った薬物、飲酒、A E D、けがの手当ても詳細に記載がされていて、とても充実した内容になっているなというふうに感じたので、大修館書店がいいかというふうに感じました。

ただ、懸念としては、専門的な私の立場から言って、非常に詳しい内容になっている、満足できる内容であるということは、逆に、もしかしたら中学生の生徒さんたち

からすると、詳し過ぎて理解が難しいというような点になっていないだろうかという  
ような懸念も一部ありました。でも、一応大修館書店がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかに。

堀村委員

私は東京書籍が一番分かりやすいのではないかなと思いました。また、活用する、  
広げる上での課題が取り組みやすくて、また、2匹のキャラクターが出てきて、学習  
ごとのヒントやポイントを記載してありまして、それも分かりやすく感じました。巻  
末にスキルブックがついているんですけども、それが中学校3年間と今後において  
も大切にしたいことが分かりやすくまとめられていて、何度も見返すことで身につけ  
やすいのではないかと感じました。

G a k k e n のほうは、学びを生かすとして提示されている課題が、少し生徒たち  
が議論したり調べたり考えたりするにはちょっと難しいように感じました。私は東京  
書籍がいいかなと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも、今、薬物乱用というか、警察からのご意見も聞いていて、今やっぱり  
増えていると。この間も中学校の中で見つかったというのがあって、本当に時代で、  
この薬物乱用をどう取り扱うのかというのがすごくここでは大事かなというふうには  
思っています。そういう意味でも、東京書籍のほうが発達段階に応じて学習ができる  
ような内容になっているかなというふうに私は思います。

ほかにはご意見ございますか。ちょっとご意見分かれていますけど、よろしいです  
か。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、保健体育につきまして、各委員のご意見を伺うと「東京書籍」を評価する意見のほうが少し多かったように思います。それでは、採択する発行者を「東京書籍」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、保健体育につきましては「東京書籍」を採択することにいたします。

続きまして、技術・家庭（技術分野）については、選定委員会では「東京書籍」「教育図書」「開隆堂出版」の3者が選定されております。

技術・家庭（技術分野）の発行者は3者だけありますので、3者について併せて協議したいと思っております。各委員のご意見をお願いいたします。

水上委員

技術はやはり実習が多いと思うんですけども、実習例が大変多くて、その中から選択できるというところ辺では、とても見やすく、分かりやすく掲載されているのかなと思いました。

それから、問題解決学習に関する内容が豊富に取り扱われていますので、生徒が考えて解決に導くというところ辺では、学習が深く進められるのではないかなというふうに考えます。

それから、今、防災についても一つの大きな課題ですので、これについても、持続可能な社会の実現のためにトピックとして多数掲載されているという部分では工夫されていらっしゃるのではないかなと思いました。私は開隆堂を採択したいなと考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

堀村委員

私は、東京書籍は情報セキュリティーや情報モラルについて生徒たちが危険や注意

すべき点を自分のこととして感じられるように工夫されていると感じました。開隆堂もたくさん記載されている、丁寧に扱われているんですけども、自分のこととして感じられるという点では東京書籍のほうが良いのかなと思います。

ただ、開隆堂のほうが本文も見やすく、分かりやすく感じましたし、まず冒頭1ページ目に実現化がなされているドラえもののひみつ道具を紹介するなど、生徒たちが興味を持って学習をスタートできるように工夫されているかと思いました。ですので、東京書籍も開隆堂もいいんですが、分かりやすいという点で開隆堂のほうが良いのかなと思いました。

岡田教育長

ほかはどうでしょうか。

城谷委員

まず、東京書籍についてなんですが、字が小さくて少し読みにくい印象がありました。

教育図書に関しては、制作物についてですが、難易度が高いように思います。どの生徒にとっても取り組みやすい課題というふうにはちょっとならないのではないかなと感じました。

開隆堂が私は一番適しているのではないかというふうに思ったんですけども、その理由としては、文字が大きめで、イラストもしっかりあって、とても分かりやすいという点で、どの生徒にとっても取り組みやすい、学習しやすい教科書になっていると感じましたので、開隆堂が良いと考えました。

前川委員

教育図書については、私も取り扱われている内容が高度で、生徒が学習するには難易度が高いというふうに感じました。

開隆堂なんですが、二次元コードから得られる情報が充実しており、学習しやすいということで、開隆堂がいいと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも、教育図書ですけれども、別冊というのがあるんですけど、別冊もいいんですけどね、やっぱりなくしてしまうというか、そういう部分も懸念されるというか、特に技術・家庭の技術ということもたちの一つのイメージからすると、ちょっとなかなか難しいかなと思っています。

開隆堂のほうは、情報セキュリティーに関するページがすごく見やすいというふうに思います。これからはやっぱりICTの中で、特に安全性というところを理解してもらわないといけないので、その部分がいいかなと思っています。

各委員のご意見出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、技術・家庭（技術分野）については、各委員のご意見を伺うと「開隆堂出版」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「開隆堂出版」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、技術・家庭（技術分野）につきましては「開隆堂出版」を採択することといたします。

続きまして、技術・家庭（家庭分野）については、選定委員会では、「東京書籍」「教育図書」「開隆堂出版」の3者が選定されております。

家庭の発行者は3者だけありますので、3者について併せて協議したいと思えます。各委員のご意見をお願いいたします。

城谷委員

東京書籍のいいところとして、食物アレルギーについての記載が充実しているとい

うことがありました。食事の中で食物アレルギーを持つ人たちの割合はどんどん増えていっていますし、その食物エネルギーの取扱いについて詳しく学習できるのはいいことかなと考えました。

ただ、私が一番いいと思ったのは開隆堂の教科書で、写真がきれいでとても分かりやすい、何を作るにしても分かりやすいというのがとても印象的でしたし、あとは、教科書の至るところに家族の多様なありかたがちりばめられているというのが非常にいいかなと感じたところです。例えば祖父母とこども、それからLGBTQのカップルと養子縁組のこども、シングルの親とこどもというような、いろいろな家族のありかたというのを自然に教科書で見ることで、そのような多様なありかたに触れられていくというのは良いのではないかなと感じて、開隆堂が良いかと考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

堀村委員

私も城谷委員がおっしゃったように、家族の多様なありかたというところは、充実しているのが開隆堂かなと思いました。

それに対して、教育図書では、家族の家系図が載っているんですけども、それが標準の家族のありかたであるというメッセージとして伝えられているように感じましたので、そこは適切ではないのではないかなと思いました。

開隆堂のほうですけれども、表紙に自立しともに支え合う生活というメッセージが載ってまして、そのメッセージの下、まず今の自分とこれからの自分、自分自身を理解するという内容が載ってまして、その中で自己肯定感とか自分らしく生きることなどを再確認できる内容となっており、その点も良いかなと思いましたので、開隆堂がいいかと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

前川委員

私は開隆堂なんですが、家族の多様性についての記載が充実しており、適切であるというふうに思いました。また、資料も充実しておりまして、自分や家族の力で困り事を解決することが難しいときの手続きであるとか、社会保障なども紹介されているのがいいなと思いました。開隆堂を採択したいと思えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

水上委員

教育図書なんですけれども、巻頭に年間を通していろいろと行事がイラストとして載っているんですが、その中に父の日、母の日の紹介がありまして、今の多様な家族の中では、わざわざ父の日、母の日という紹介は必要ないのかなというふうにちょっと感じさせていただきました。

私も開隆堂がいいかなというふうに思っています。やはり写真がきれいですし、それから実習例もやはり技術と同じような形でたくさん掲載されていますので、大変イメージも湧きやすいなというふうに感じました。それから、先ほどからもずっと委員がおっしゃられてるように、今、多様な家族の形態が見られる中で、それをきちんと紹介をされて、分かりやすく書かれているというところ辺では大変工夫もされていますし、分かりやすい。それから、今、課題になっています、よく出てきますヤングケアラーについても掲載をされているという点では、現代的な課題にもきちっと言及されているので、開隆堂がふさわしいのではないかなと感じています。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうからもちょっと意見を。気になったのは東京書籍の家族団らんの写真という、家族団らんってわざわざ書いてあるところに、祖父母と父母とこどもの写真という、こうなってるイメージがやっぱり現代には合わないのではないかなと。だから、その部分はちょっと気になった部分です。

それから、教育図書のところは、多分これ実習で、幼児と触れ合う実習のポイントの中に、望ましくない行動というのがペケがついてあるんですよね。これはやはり表

現として、こどもたちと、これから幼児と向き合うのに、やったらあかんと、こんなんでなくて、こういう配慮が必要ですよという書き方のほうが絶対こどもたちの中に入るので、あれやったらあかん、これやったらあかんじゃないと思うんですね。理科の実験では危ないから絶対やったらあかんというのはペケで書いてあってもいいとは思いますが、これからこどもたち、幼児と向き合う中で、やはりこういう配慮が必要なんだよというところで理解していくほうがやっぱりいいかなと。ペケってつけてしまうと、なかなかきつい言い方になっているかなとちょっと思っていました。

開隆堂はやはり現代のこどもたちを取り巻く環境に合わせて書いている部分が多いというふうに思います。

それでは、各委員のご意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

技術・家庭（家庭分野）につきましては、各委員のご意見は「開隆堂出版」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「開隆堂出版」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、技術・家庭（家庭分野）につきましては「開隆堂出版」を採択することといたします。

続きまして、英語についてでございます。教育委員会といたしまして、まず選定外となった「開隆堂出版」「光村図書出版」「新興出版社啓林館」の3者について協議いたします。

選定外の理由といたしまして、まず「開隆堂出版」のほうでございますが、単元の中のポイントになる分野、表現などのキーセンテンスが何か明確に示されておらず分かりにくい。「光村図書出版」につきましては、文法を理解するためのスモールス

トップが少なく、生徒にとって難易度が高い。「新興出版社啓林館」につきましては、1 ページ内の文字数や情報量が多いため、生徒がポイントを絞りにくいと。そういうふうな報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「開隆堂出版」「光村図書出版」「新興出版社啓林館」の3者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「三省堂」「教育出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

1年生の導入のところなんですけれども、b e 動詞や一般動詞でつまずきが発生するのかなと思うんですが、この記載内容を比較すると、三省堂や教育出版より東京書籍のほうが分かりやすく感じました。b e 動詞や一般動詞について、巻末のカードを利用して語順を学べるようにしている点や、また文法の解説なども、そのほかの文法の解説も全て分かりやすく感じました。

あと、テーマ選択も発達段階に応じて適切に選択されていると思います。Let's Read という読み物が掲載されているんですけれども、1年生では小学校で日本語で学んで親しみのある「ごんぎつね」が載せられていて、また、3年生では広島原爆についての読み物が載せられているなど、発達段階に応じたテーマで読み応えのある文章が掲載されているかと思いましたので、私は東京書籍がいいかと思います。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

城谷委員

どの教科書もそれぞれ工夫があって、英語が少しずつスモールステップで理解できるような工夫がされているかと思いました。ただ、扱われているテーマとしては、特に東京書籍の3年生になった段階では、日本語でディスカッションしても面白いような、充実した内容がテーマとして使われていて、発達段階に応じたテーマが適切に選ばれているという点で、東京書籍の教科書がいいというふうに考えました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

水上委員

小学校との接続というあたりで見させてもらったんですけども、教育出版のほうはスプリングボードという箇所があって、小学校からの接続についての記載が豊富で、復習のためのコンテンツも準備をされていました。

反対に、東京書籍のほうは特に桜マークというのがあって、「小」の字が記載されていて、大変目につく工夫がされてありました。小学校で触れた単語や表現が分かるように、こんなマークの工夫がされていました。

三省堂のほうは、ページの下のほうに小学校で触れた単語のほうに記載をされているんですけども、より小学校からの接続を考えて、より生徒たちが復習をする、思い出すというところ辺では、東京書籍のほうが優れていたのではないかなというふうには考えます。

岡田教育長

ありがとうございます。

前川委員

東京書籍、三省堂、教育出版とも大変工夫されていると思いますが、私としては、内容や構成、配列、難易度のバランスが取れているという点で東京書籍がいいと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも三省堂の中でいいなと思ったのは、「公平」と「平等」のイラストですね。これはすごく子どもたちにとっても理解してほしい部分かなとは思ってます。ただ、ここは一つの人権というか、考え方を取ってほしいなというふうに思ってます。

教育出版は教科書のサイズがちよっと小さいので、行間がちよっと狭くなって書き込みがしにくいかなというのはちよっと思います。

それから、東京書籍のほうは、やはり人権というか、ガンジーとかダイバーシティ、それからLGBTQ、それから人権に関する内容が多く含まれています。実はここに書いてあるガンジーの非暴力のところが、それ以降、キング牧師とかそういう流れがあるというのは、英語の教科書の中でこう書いてあるというのが、やはり人権的にすごくいいのではないかなと。世界の流れの中で言えば、やっぱりそういうところを分かってほしいなというふうに思っています。

ほかによろしいでしょうか、ご意見のほうは。

各委員の意見が出尽くしたようですので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、英語につきましては、各委員のご意見を伺うと「東京書籍」を評価するご意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「東京書籍」と決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、英語につきましては「東京書籍」を採択することといたします。

道徳については、教育委員会として、まず選定外となった「教育出版」「Gakken」「あかつき教育図書」「日本教科書」の4者について協議いたします。

選定外の理由として、「教育出版」につきましては、挿絵の内容と関連がイメージ

しにくく、内容も生徒がなじみにくい。「G a k k e n」につきましては、文字数が多く、デジタルコンテンツも少ないため、生徒の意欲につながりにくい。「あかつき教育図書」につきましては、中学生が中心の教材が他社よりもあり、自分事と考え、話しやすい反面、心情への配慮が必要となる場面が生じやすいところがある。「日本教科書」につきましては、ウェルビーイングカードの活用を促しているが、教材とつなげた発問や授業構成が難しいというふうに報告を受けております。

これらの意見から、選定外の「教育出版」「G a k k e n」「あかつき教育図書」「日本教科書」の4者について採択の対象としないことが適切であると考えますが、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、選定されました「東京書籍」「光村図書出版」「日本文教出版」の3者について協議いたします。3者の中から採択する発行者を決めてまいります。各委員のご意見をお願いいたします。

堀村委員

私は日本文教出版の視野を広げてというコーナーはいいなと思いました。アンガーマネジメントやコミュニケーションの方法とか情報との付き合い方など、知っていれば日常生活に活かして生きやすくなる知識とか考え方が扱われていて良いなとは思いました。

ただ、全体的に深く考えると、探究するような発展教材が用意されているのは光村図書かなと思いました。光村図書のほうが学習が進めやすいのではないかと思います。また、学年ごとの振り返りのページなどもありまして、3年生の最後の教材ではアンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓十五の君へ～」の歌詞を載せて、未来の自分に伝える手紙を書くという構成になっていて、それもすごく良いかと思います。ですので、私は光村図書出版がいいかと思いました。

岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

#### 城谷委員

その3者の教科書なんですけど、いじめについてはどの教科書もしっかりと取組がなされているように感じました。

それ以外の部分で、東京書籍については、命について考えることができるというのがいい点かなというふうに考えました。末期がん、骨髄移植、それから防災についていろんな面から命について考えることができるというふうに思いました。

ただ、現代の生徒たちが実際にもっと知ってほしいこととしては、情報モラルやインターネットとの付き合い方というほうが、私はより今の中学生が知っておいてもらいたいポイントかなというふうに感じて、その点については光村図書出版が最も豊富に情報モラル、インターネットとの付き合い方ということについて取り扱っているというふうに考えましたので、命のことも大切にはしてほしいですが、より現代、今まさに中学生が知っておいてほしい点としては、光村図書出版の情報モラルのほうが大切ではないかというふうに考えましたので、光村図書出版がいいかというふうに考えました。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

#### 前川委員

東京書籍、光村図書出版、日本文教出版とも、人権について、情報モラル、いじめ等、それぞれしっかり取り扱っているというふうには思いました。ただ、その中で、私としては光村図書出版が一番内容的に充実していると感じました。また、差別や偏見について考えるために、ハンセン病についての教材が光村にあるんですが、これについてもとても良いと思いました。私としては光村図書出版を採択したいと思います。

#### 水上委員

この3者で言うと、東京書籍、光村図書出版の教材の選択は、とてもいい教材が配列されているなと思いましたし、大切な課題別に教材が配列されているなと感じまし

た。東京書籍は特に学習するたびに、その単元のところの読み物のところにつぶやきという付箋がありまして、すぐに教科書に自分の思いを書き留めて、記録として残していけるというところ辺では工夫をされているなと思いました。

光村のほうは、同じように学びの記録というふうにはあるんですけども、切り離さないといけないというところ辺が少し残念なんですけれども、毎時間授業で考えたことは後ろの巻末のところメモとして残していけるという点では、同じように生徒の毎時間考えたことを自分できちんと記録として残せる工夫がしてあるなと感じました。

それから、一番いいのは、やはり巻頭に道德の学習を始めようというところで、分かりやすいイラストとともに学ぶときのポイントがきちんと書いてありまして、その中で、答えは一つではないというところ辺が強調されて書かれていますので、ここはやはり道德の学習をするときに、自分の思いや意見を一番大事にして、そして他者と交流するというのが大事な視点だと思いますので、こういうところにポイントを置いて、きちっと学習の初めに配列されているのは良いかなと思いました。私も光村図書出版を採択したいと考えます。

#### 岡田教育長

ありがとうございます。

私のほうも、気になるのは東京書籍と日本文教出版のところのいじめの構造ですね。絵がずっと描いてある構造があって、これは最初に文科省が出したいじめの構造みたいなところがあるので、ただ、この加害者、被害者と、あと傍観者というのがあるんですけど、今はこういういじめの構造だけではないのでね。多様ないじめのパターンというか、ネット上のそういういじめもありますので、そういう意味でも、ちょっとこれは出してしまうと固定化されてしまうかなという危惧はちょっとしています。

それから、日本文教出版と光村のところ、魚の涙とかね、心の涙と読むんですかね、これ。教材の比較で、挿絵の魚の雰囲気全然違って、日本文教出版のほうは追いかけている魚が全部目がつり上がった感じで1匹を追いかけているという、そういうのがあって、逆に光村のほうはそういうのじゃないんですよ。これさかなクンが書いた文章なんですけど、彼自身もいじめられた体験もあるみたいなんですけど、その部分で、感情的には、ぱっと見た中で目がつり上がった魚が追いかけていると、

ちょっとまたこの部分で言えば違ってるんじゃないかなと。私自身の個人的な感想も含めて、ちょっと違和感があるなというふうに思っていました。

それから、私、光村がいいと思うんですけど、どの学年の巻頭にも書いてあるのが、「答えは一つではない」というふうに書いてあるんです。だから、一つの意見でまとめるのではなくて、それぞれの意見があるというのはすごくいいかなと私は思います。

それともう一つが、考え、議論する道徳であると。だから、答えを導き出すのが道徳ではないので、それぞれが一つのテーマについてそれぞれが考えて、それが自分のそれぞれの社会の中で行動に移していく基本になると思いますので、回答は要らないというふうな、こう思うので、光村がその部分が割と多く入っているかなというふうに思っています。

それともう一つが、「リクエスト食」という、そういうのもちょっとあって、これ最後に何を食べたいかというか、病気になったときの、そういうところを子どもたちがどういうふうに考えているのかなと。命を考える教材もすごくいいものが入ってるかなというふうにちょっと思っています。

それでは、道徳につきまして、それぞれ各委員のご意見出尽くしたように思いますので、協議を打ち切りましてもよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

道徳につきましては、各委員のご意見を伺うと「光村図書出版」を評価する意見が多かったように思いますので、採択する発行者を「光村図書出版」に決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、道徳につきましては「光村図書出版」を採択することといたします。

次に、中学校における学校教育法附則第9条関係図書についてであります。提案者の提案のとおり、「必要に応じて採択する」ことよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、中学校における学校教育法附則第9条関係図書につきましては、「必要に応じて採択する」ことといたします。

ほかに何かご質問はございませんでしょうか。

それでは、お諮りいたします。質疑を打ち切りましてもご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。よって、議案第28号は以上のとおり可決いたします。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

令和6年第9回茨木市教育委員会臨時会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

(16時24分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和6年8月5日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 \_\_\_\_\_

署 名 委 員 \_\_\_\_\_